

平成24年 7月 9日

REB—1000社の会

菅直人前首相が登壇し新エネルギー政策の動向を語る

SD建築企画研究所（東京都渋谷区）は、平成19年より建設・不動産関連のビジネスを行っている事業者・企業をメインにしたセミナーと情報交流会のREB—1000社の会を開催。『人脈は宝、情報は宝』をモットーに毎回300社以上もの企業が集まる活気溢れる会となっております。7月4日で35回目を迎えた今回は、「スクワール麹町」にて民主党高顧問であり、新エネルギー政策担当の菅直人前首相を招いて、「原発に頼らない新しいエネルギーの社会とは！」と題して基調講演を行った。

「現在、再生可能エネルギーが注目されており、再生可能エネルギーが注目を浴びています。再生可能エネルギーは復興、もう一つは再生可能エネルギーです。今年D建築企画研究所（代表取締役）による菅直人前首相の優れた点は、地域分散型のエネルギーとなり、原動力となる所や陽が当たる場所に分散的に投資が発生しているように感じます。日本の経済はデフレの状態が続いており、今年チャンスを狙っています。昨年地震により非常に厳しい状況に見舞われました。その後、震災により大きな需要が生まれたこととして、同会の代表世話人である清水修司氏（SD建築企画研究所の取締役）にインタビューを行いました。



◆インタビューに答える菅直人前首相

また、第二部では、L O O Pの代表取締役社

長の中村創一郎氏とSD建築企画研究所の取締役のコンサルティング事業部長である安達直弘氏による「7月より再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始—太陽光発電にビジネスチャンス到来！」と題し、遊休地を活性化するための具体的なビジネスモデルについてセミナーが行われた。

なお、今回は事前申し込みで500名を超える人が出席を希望。当日のセミナー会場では参加者多数により、立ち見が出るほどの盛況のうちに閉幕した。